



諫早図書館



ティーンズスタッフ主催

## 『ティーンズ祭』<sup>さい</sup> 開催決定！！

日にちは5月3日(火)

神経衰弱のゲームや、しおりやブックカバーなどのティーンズスタッフオリジナルグッズの配布、諫早高校ギターマンドリン部の演奏などなど、誰もが楽しめるイベントを企画  
中！

そして！！！！

図書館併設カフェ・HYGGE との  
コラボメニュー発売決定！！



どんなメニューになるかは、お楽しみ！！

イベント情報などは諫早図書館公式 Twitter や、4月から開設予定の非公式インスタなどで随時更新していきます。

ティーンズスタッフ：メソッドレッド



～中高生むけ図書館だより～

# OWL NEWS

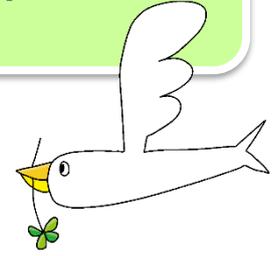
Vol.23



ティーンズスタッフ：Hi-

2022. 春号 (2022. 4. | 発行)

# わたしたちのおすすめ本



『マチルダは小さな大天才』  
ロアルド・ダール／著  
クエンティン・ブレイク／絵  
宮下嶺夫／訳（評論社）



主人公のマチルダは3歳になる前、自然に字を覚え、4歳にしてディケンズやヘミングウェイなど大人向けの小説をすらすら読めてしまうような少女です。数学の才能にも恵まれ、さらにはある特殊な能力も発揮します。けれどもマチルダの両親は娘のマチルダを「かさぶたかなにか」くらいにしか思っていませんでした。それどころか「どうしようもないワル」「正真正銘の悪ガキ」とみなし、マチルダに対して心ない仕打ちを続けていたのです。しかし、マチルダも普通の子どものように黙って耐えているわけではありません。飛びぬけて優秀な頭脳を頼りにして毅然と反撃を開始するのです。

天才、いや、大天才マチルダが横暴で高圧的な大人たちに立ち向かう痛快仕返し物語です。テンポがよくあっという間に読み終わってしまいます。面白いです！自信をもっておすすめします。ぜひ読んでみて下さい。

（ティーンズスタッフ：夏夜）

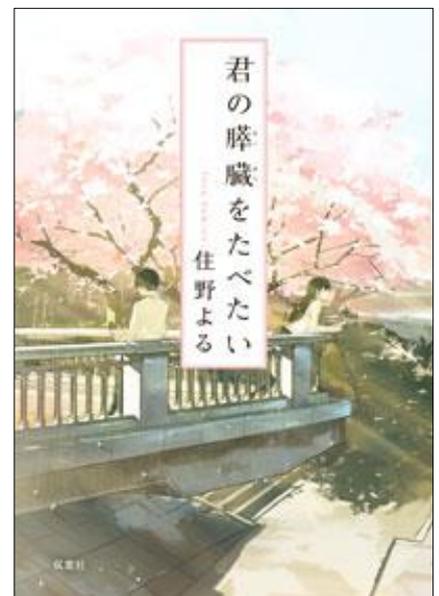


『君の臍臓をたべたい』  
住野よる／著（双葉社）

ある日、僕は病院で「共病文庫」という本を拾う。興味をもって開いてみると、そこにはクラスメイトである山内桜良が肝臓の病気で余命僅かである思いが綴られていた。人と交わろうとしない僕とクラスの人気者の彼女。正反対の性格の二人は、次第に心を通わせるようになり…。

「名前のない僕」と「日常のない彼女」が織り成す物語。このタイトルに読後、きっとあなたは涙する一。

（ティーンズスタッフ：加密列）



## 『GOTH 夜の章』

## 『GOTH 僕の章』

乙一／著 (KADOKAWA)

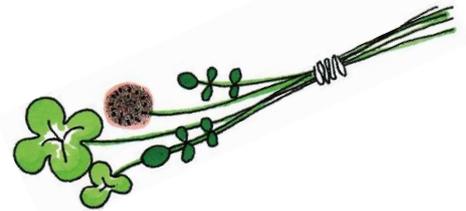
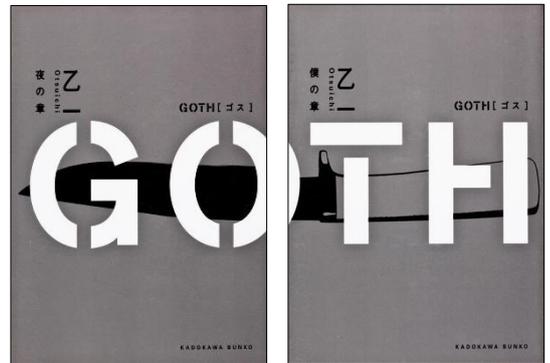
とても美人だが、周囲と壁を作って馴染まず、孤立している森野夜。周囲には溶け込んでいるが、また同じく孤立している「僕」。2人の共通の趣味は、「殺人」「猟奇」といった常人には理解できない異常なもの。最近興味を持っているのは、世間を騒がす連続殺人。夜が殺人犯のものと思われる手帳を拾ったことにより、事件に巻き込まれていく…。

(『GOTH 夜の章』に収録 「暗黒系」)

人を殺して手を切って持ち去る猟奇事件。「僕」は偶然犯人の目星を見つけてしまう。犯人の「手」のコレクションを気に入った「僕」は…。

(『GOTH 僕の章』に収録「リストカット事件」)

(ティーンズスタッフ：箱庭)



## 『勝手にふるえてろ』

綿矢りさ／著 (文藝春秋)

経理課で働く私には彼氏が2人いる。イチ彼とは中学校以来一度も会っていなかったが、未だに忘れられず強烈な片思いを抱え続けていた。一方ニ彼とは同じ会社で知り合い、うまくいけば結婚までしてしまいそう。

でもやっぱり、私はイチがいい——。妄想と現実の間で漂う「私」の恋物語。

(ティーンズスタッフ：井口)

